

キーメッセージ

Challenge for Change

変化への挑戦

～受け継いだ強みを活かし、次代を見据えた新たな価値の共創～

世の中が複雑に変化し、将来を見通すことが困難を極める中、様々な可能性や選択肢がある社会で、築き上げてきたものを継承しつつ、変えるべきものは変えて、「新たな価値」を創出していく。そのため、近江商人の「三方よし」の精神をその歴史から学び、受け継ぎ、持続可能な社会を構築するとともに、一方で、新しいテクノロジーやサービスを活用し、今まで以上のコラボレーションを実現し、失敗を重ねながらそれを糧にし、トライし続けることで、最適社会に変えていく。

コンセプト

ミッション
(使命)

“人”や“モノ”のボーダーレスなつながりを通して、滋賀から、世界が抱える社会的課題の解決策を提案し、持続可能な社会の構築につながる産業の発展に貢献します！

ビジョン
(2030年の目指す姿)

新しいテクノロジーやサービスの創出、積極的なコラボレーション、進化するインフラを活用して、「新たなチャレンジ」が日本で一番行いやすい県、「社会的課題」をビジネスで解決し続ける県を目指します！

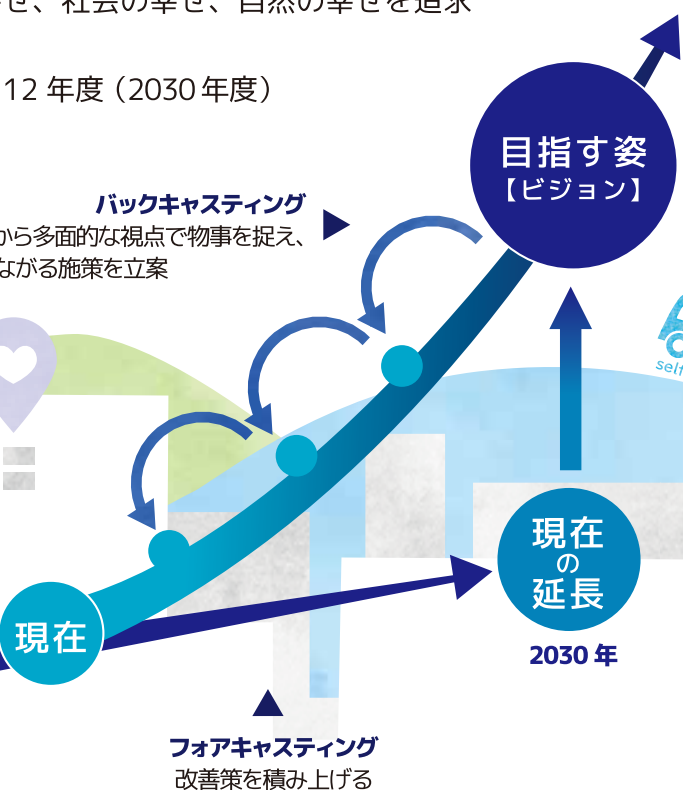
バリュー
(大切にしている価値観)

- 琵琶湖をはじめとした自然環境を守り、活かし、支える循環共生型社会
- 「三方よし」、「忘己利他」、「一隅を照らす」等、先人から受け継ぐ精神
- 持続可能な経済活動のもと、人の幸せ、社会の幸せ、自然の幸せを追求

改定後の計画期間 令和2年度(2020年度)から令和12年度(2030年度)

2030年の目指す姿からのバックカスティング

滋賀県基本構想の基本理念・目指す姿の実現を図るため、従来のフォアカスティングの手法による施策構築に加え、2030年の目指す姿からのバックカスティングの手法により、チャレンジを促進する産業振興の基本的な考え方を定めます。



滋賀県の持ち味(特長)

「人」を中心に、「琵琶湖」、「産業基盤の集積」、「健康」、「地理」、「ミドル世代」の6つです。

「産業」を広く捉え、従来の産業区分(第一次産業、第二次産業、第三次産業)に捉われない、「異分野の融合」や「新しい産業」を志向します。

4つの視点を重視し、多様な主体の共創のもと、新たな9つのチャレンジを応援します。

同時に中小企業の経営基盤の強化への取組を行います。

産業振興の基本的な考え方

4つの視点

- ①チャレンジする人・企業が集まる滋賀
- ②実証実験のフィールド滋賀
- ③ビジネスで実践する「健康しが」
- ④世界から「選ばれる滋賀」

9つのチャレンジ

1. 挑戦する人の育成・確保・応援
2. 挑戦する人たちや組織とのネットワーク形成を支援
3. 挑戦して活動する機会・場の創出
4. 地域の資源を活かしつつ、地域の課題に向き合う取組を支援
5. 世界に向けてはばたく活動を支援
6. 産業分野の融合を支援
7. 多様な人を呼び込む、関わるしかけづくり
8. 未来を切り拓く情報や技術、サービスの集積
9. 時代を変えていく新たな投資を呼び込む



中小企業の経営基盤の強化※への取組を行いながら、産業分野、業種、規模の大中小を問わない地元事業者、地域に貢献する企業の振興を図り、それらの企業等が、新しいテクノロジー・サービス、インフラ、ネットワークを活用することを応援するものです。

※本県産業の担い手(プレイヤー)である中小企業の観点から、その活性化を目指す「滋賀県中小企業の活性化の推進に関する条例」とあわせて、本県経済の発展を目指す。